

筋トレ眼科医・久保田明子

まつげの悩み諦めないで!!

まつげは、短い、細いなどまつげが不足していたり、不十分な状態を指します。

加齢、マスカラ・ビューラー・まつげまつげ・まつげエクステなどのまつげケアによるダメージ、円形脱毛症やアトピー性皮膚炎などの皮膚疾患やがん化学療法などの薬の副作用で起こると考えられています。

まつげは「目力」の決定要素であり、その人の印象を決める大きな要因であることから、女性にとっ

て大変重要なアイテムなのはもちろんですが、まつげの機能は美容的な問題だけでなく、汗・強い日光・ほこり・異物から目を守る役割も担っていることから、年齢性別に関係なく重要なポイントと言えるでしょう。

先述したまつげケアとしてのまつげエクステなどは、まつげ自体が生えていなければ不可能ですし、そもそも男性がするのは抵抗があると思います。そこで男女問わずご紹介できるのが、外用薬「グラーシユピスタ®」(アラガン・ジャパン)です。まつげの毛周



期は退行期(15日) ↓休止期(4~9カ月) ↓成長期(1~2カ月) からなり、頭髮に比べると休止期が長く、成長期がとても短いのが特徴です。まつげ(毛包)の全体のうち約半数は休止期にあると言われていますが、グラーシユピスタ®の有効成分である「ヒマトプロスト」は、成長期の期間を延長させることでまつげの長さ、太さ、濃さを改善すると考えられています。

その他のまつげ美容液は化粧品や医薬部外品に分類されますが、グラーシユピスタ®は、成長期の期間を延長させることでまつげの長さ、太さ、濃さを改善すると考えられています。

患者さんでは77・3%、がん化学療法後のまつげ脱毛症の患者さんでは88・9%で有効性が証明されています。ただし、妊婦または妊娠している可能性のある女性など、使用を避けた方が良いでしょう。慎重に使用した方が良いでしょう。

ベストボディ・ジャパン2016湘南サマービーチ大会で3位に入賞し、11月に行われる日本大会の出場権を獲得したユピスタ®は唯一厚労省に認められた医薬品を主成分としており、日本人での臨床試験において、特発性のまつげ脱毛症の

りますし、薬の副作用の問題もありますので、ご使用には注意が必要です。もしかしらまつげ脱毛症かなと思ったら、一人で悩まず近くの眼科へご相談ください。

♡久保田 明子 (くぼた・あきこ) 1971年(昭和46)生まれ。金沢医大卒。眼科専門医、医学博士。大病院や都内クリニックを経て、06年から「アイクリック自由が丘」(目黒区)院長。社会貢献を目指す「E.O.女医会」に所属。パーソナルトレーナーの夫とは趣味のサーフィンを通じて出会う。趣味はボディートレーニング。娘と息子を持つ「ママ美女医」。